

# 市民のための仕事をするために 残業減らす真の対策を!!



11月10日・12日、府職労は大手前庁舎と咲洲庁舎で残業実態調査を実施しました。

## 約半数が残業、残業が「あたりまえ」に

今回の調査でも半数近くの職員が残業しており、残業が「あたりまえ」になっている実態が明らかになりました。また、アンケートでは434名から回答がありました。10月の残業時間数では3割を超える職員が30時間以上残業しており、60時間以上が8.9%となっています。また86.9%が「時間外勤務命令が適正に

## 月60時間以上残業、過労死不安47%

19.8%が「過労死等の不安を感じたことがある」と回答し、10月に60時間以上残業した職員の中では、47.4%が過労死等の不安を訴えています。また、普段の仕事での心身の疲労で「毎日非常に疲れる」

## 子ども家庭センターをはじめ出先職場でも長時間労働が深刻化

仕事が増えるのに人が増えない、欠員が補充されないも、残業実態は出先職場でも深刻化しています。先日の団体交渉では、深刻な職場実態が出され、子ども家庭センター職員の実態アンケートでは

## 「たまに非常に疲れる」が46.3%と約半数となっている

「夜も働くことが当たり前」の職場、日中ほとんど事務所に居らず、時間外に帰ってきて仕事を状況。対応会議や打ち合わせも時間外に行っている「勉強する時間も相談する時間もない。自分の子どもと過ごす時間も少ない」「家庭も子育ても相当犠牲にしないと働けない。みんなの自己犠牲でなんとか成り立っている」などの声が寄せられています。

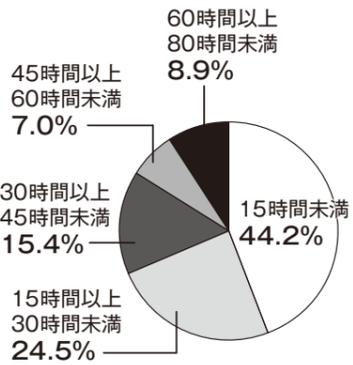
## 府職労は深刻化する恒常的残業の解消に向けて、いっそう取り組みを強化します。

府職労は深刻化する恒常的残業の解消に向けて、いっそう取り組みを強化します。

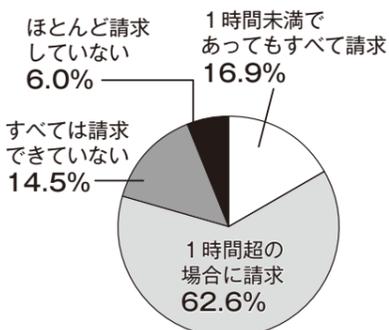
18時30分以降の退庁者数 (2015年11月調査)

退庁時間	退庁した職員数		計
	大手前 (11月10日)	咲洲 (11月12日)	
18時30分～19時30分	392	498	890
19時30分～20時30分	268	224	492
20時30分～21時30分	216	147	363
21時30分～22時30分	146	149	295
合計	1,022	1,018	2,040
22時30分以降残業者数	142	52	194

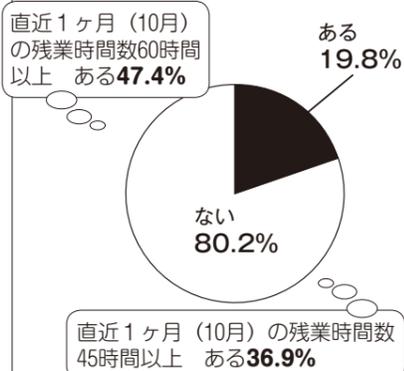
あなたが直近の1ヶ月(10月)に実際に残業した時間数(休日出勤も含む)を教えてください。



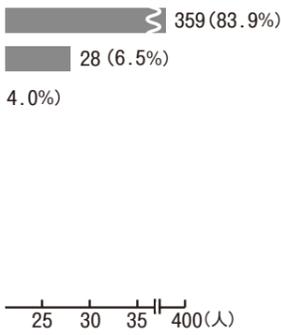
あなたは時間外勤務手当の請求をどうしていますか。



11月は政府のよびかける過労死防止月間になっています。あなたはこれまで過労死等の不安を感じたことがありますか。



ヶ月間におおむね100時間以上6ヶ月間にわたって、0時間を超える時間外労働をしています。この1年間で月務は何回ありましたか。



年末になりましたが、みなさん今年の年休は取得できていますか？今では付与されるのが当たり前有給休暇ですが、日本で年次有給休暇が導入されたのは、戦後に定められた労働基準法(1947年)によります。当時は最低日数6日としていたものが、労働組合の運動やILOからの勧告により現在の日数が取得できるようになりました。業務が増えているのに、人が増えず、時間外労働を余儀なくされている状況のもとでは、「年休を取るどころじゃない」「人を増やしてほしい」「など、年休取得もままならない職員の方も多いのではないのでしょうか。

### ローアンのスズメ<sup>33</sup>

## 年休取得できていますか？

**年休を取得できる職場環境を**

平成18年4月に施行された「労働時間等の設定の改善に関する特別措置法」の第2条は「事業主はその雇用する労働者の労働時間等の設定の改善を図るため、業務の繁閑に応じた労働者の始業及び就業の時刻の設定、年次有給休暇を取得しやすい環境の整備その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と定めています。年休を取得できる環境整備を事業主に求めることは法的にも認められています。

**労働安全衛生委員会**

みなさんの職場の労働安全委員会が、1年を振り返り、職員の年休取得率を委員会で確認し、取れる環境にもっていくよう管理者に認識してもらおうと、労働環境を改善するきっかけになるのではないのでしょうか。

労働安全衛生委員会が出された課題や問題は、必ず解決策をださないといけないことになっています。労働安全衛生委員会を上手に活用し、私たちの労働環境の改善につなげてみませんか。

## アンケートで出された意見(抜粋)

### 1時間半は残業 つかない慣習に

なっていると思うので、引き続き頑張りたいです。

### 「時間外減らせ」だけでは士気が下がる

上席から「時間外勤務を減らせ」ばかり言われ、(個人の努力を期待して)課員の士気が下がってしまっている。時間外勤務を減らすための方策は幹部、管理職がしっかり示していくべきだと思う。/休息時間がなくなったのがストレスになっている。/水曜の定時退庁を徹底しては？/残業はしたくありません。/確実に残業が増えている。1人の業務量が多い。/命があつてこそ働ける。動きやすい環境整備をお願いします。/業務量に見合った人員を配置してほしい。人員を減らすなら業

中をお願いします。/退職した職員は欠員補充は常勤対応してください。/出勤機を複数設置してください。/所属によって業務量に差があると感じます。/適切な業務量、配置職員数を求めます。どの所属でも均一な業務量になってほしいです。/限られた財源を人件費に多く費やせない事情は理解できますが、現状の人員配置では府民にとって十分な施策構築、行政サービスの提供ができるのか疑問を感じています。/時間外の認識が薄い人が多すぎ。/業務量が多すぎ。/精神的疲労で毎日非常に

でや。/人員配分に不満を感じる。/精神論では実際の仕事量は減らない。/時間外の内容をグループ長が確認することで、総務部の時間外が減ったそうだが、請求できずに残業した人がかなりいたのではないかと。/人を増やしてほしいです。/サービスクラスが増えました。/7時まで1時間以上の残業なら時間内に収められるはず。/このことで残業していても、よほどせっぱつまっていない限り、時間外がつけられず、困っています。助けてください。/咲洲庁舎と本庁の移動勤務時間中の無駄があまりにも多い。そのため時間外勤務が増えていることは明らか。一日も早く

仕事はいくらでもあり、毎日残業して少しでも早く職場の戦力にならないといけないのだけれど、体が疲れて仕方ないので困っている。/府民のために少しでもいい仕事をして頑張りたいと思っはいるが、残業しても全然報われる気持ちがないのが悔しい。/時間外申請(入力方法・お金)方法が分からないので1年目はまったく申請しませんでした。下から聞きにくいことなので初めに説明すべきです。/昨年度の残業時間数は上限基準(360時間)の2倍以上。今年度は効率化、慣れなどにより削減できそうですがすでに300時間を超えています。効率化には限界があります。お願いですから人を増やしてください。

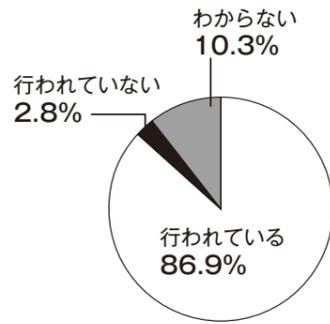
**忙しいと休めも取れない**



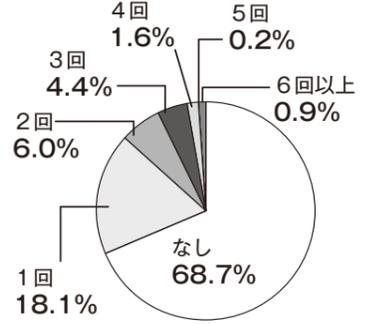
# 府 残

## 2015年 秋 本庁(大手前・咲洲) 残業実態調査

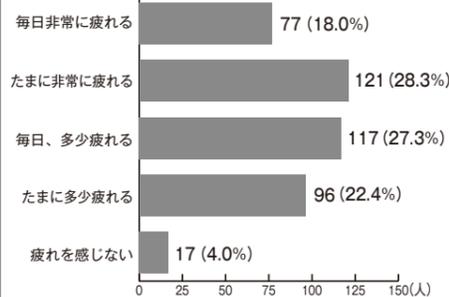
あなたの職場では時間外勤務命令(申請・承認)や支給は適切に行われていますか。



あなたの直近の1ヶ月(10月)の休日出勤回数を教えてください。

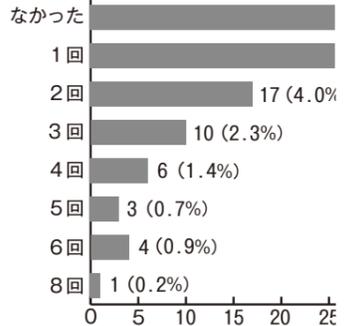


普段の仕事で心身に疲労を感じますか。



直近1ヶ月(10月)の残業時間数45時間以上  
毎日非常に疲れる**50.0%**

厚生労働省は「発症前1ヶ月間又は発症前2ヶ月間ないし1ヶ月当たりおおむね80時間」を過労死ラインとしていて、80時間を超える時間外勤務は



### マジメに

## 大阪・府民のために仕事ができる府政・職場をつくるため、これからも力を合わせよう

11月22日投票で行われた大阪府知事・大阪市長選挙は、明るい大阪民主府政をつくる会が自主的に支援したくらはら貴子さん、柳本あきひろさんは当選に至らず、現職の松井知事と橋下前大阪市長が後継に指名した吉村氏が当選しました。

### 「オール大阪」の政策が明らかに

選挙戦でくらはらさんと柳本さんは、維新府政・市政を終わらせ、オール大阪でマジメに大阪のことを考え、まっとうな府政・市政をつくること、中小企業対策の強化を軸にした大阪経済の立て直し、福祉・教育・医療の充実を中心的な政

### 自治体労働者が先頭に立つ運動をすすめよう

一方、松井・吉村両氏は、政界引退を表明した橋下前市長を前面に出し、政策とどこか自らが争点とした「都構想やり直し」すら、まともに語る事ができず、ウソとペテンに満ちた既成政党批判、8年間の大阪の衰退を隠すための公務員パッシングに終始しました。これは住民や自治体労働者を分断し対立させ、自らの失敗から目を逸らさせるものです。しかし、大阪経済が全国的にみても大きく落ち込み、閉塞感を大きく

### 府民のために誇りを持つ仕事のできる府政

今回のたたかいが確信を深め、これからのたたかいに、対話と協調によりマジメに大阪のために、府民のために仕事ができる府政の実現、まっとうな大阪をつくるために全力で奮闘する決意です。

### 咲洲庁舎も残業の主要原因のひとつ

咲洲庁舎は遠い。ゆとり月間と称して定時退庁を呼びかけることは残業削減のための一歩前進だが、かけ声だけでは残業は減らない。危機管理と称してあらゆる事態に対応することをよほど発生しないうる。部室や業務によって、残業時間に大きな違いが生じていると思う。組合が残業実態調査を取り組んでいくことが、サービス残業や

### 毎日2時間近くサービス残業

残業が緊急性がないと言われた。10時まででも取り下げた。残業処理は退勤をしてから行うように言われた。毎日2時間近くサービス残業をしています。正職員を増やして欲しい。家庭の事情で残業はできません。日中無駄口を一切せず、本心に何かこなし

### 取れない

これは明らか。一日も早く大手前周辺に庁舎を一元化すべき。同じグループ内で担当業務の分担に偏りがある。先日、福祉総務課人事グループより上半期の時間外勤務300時間を超えていたのでヒアリングされた。今年度初めての試みだということだが、ヒアリングの総括結果を公表してほしい。部局によっては時間外勤務の多い所属と少ない所属があるが、偏りがあることについて現状分析すべき。



## ほけんしょ・けんぷく9条の会 10周年のつどい

日時 2016年1月16日(土) 午後2時～4時

場所 ドーンセンター 大会議室2  
(地下鉄谷町線天満橋駅5分)

第1部 人形劇団 ねこじゃらし おたのしみに――  
「さんさん△ちゃん」  
「ぼんたのじどうはんばいき」

第2部 お話と写真「戦跡が語り掛けるもの」  
写真家 安島 太佳由さん



プロフィール：1959年福岡生まれ、大阪芸術大学写真学科卒業。1995年「日本の戦争」をテーマに国内外の撮影開始。2010年「若い世代に語り継ぐ戦争の記憶」プロジェクト開始。2015年、戦後70年企画児童書写真集「平和を考える戦争遺産図鑑」を出版。当日、本の販売も行います。

安島さんのHPIには「戦跡写真をメインとして見ていただきます。1枚の写真から戦争の愚かさ悲惨さ、そして平和の尊さを感じてください」と記されています。

戦争の記憶を若い世代に語りつぐ絶好の機会です。職場からはもちろん家族・友人を誘ってご参加下さい。参加費無料です。

連絡先 大阪府職員労働組合保健所支部 TEL：06-6941-3130  
FAX：06-6941-4541